

道後温泉本館保存修理工事費用の寄付を募ります

～小説「坊っちゃん」の舞台 道後温泉本館を未来に遺したい！～

道後温泉本館は、老朽化および耐震補強のため保存修理工事を平成30年秋以降に行いますが、多額の費用がかかるため、その費用の一部について寄付を募ります。寄付をいただいた人には、「小説『坊っちゃん』の舞台 道後温泉本館を未来に遺したい！」プロジェクトのメンバーとして認定し、メンバーの名刺を進呈し、工事進捗状況などのレポートを送ります。いただいた寄付は寄附金税額控除の

対象となります。

【募集期間】 12月1日(金)～平成30年3月31日(土)

【対象】 個人および企業

【募資金額】 個人1万円～、企業10万円～

※道後温泉本館・椿の湯・道後温泉別館 飛鳥乃湯泉・市役所本館1階には募金箱を設置。募金箱への寄付は1円からでも受け付け。募金箱への寄付は寄附金税額控除の対象外。

【申し込み】 期間中にホームページ<https://www.furusato-tax.jp/gcf/229>または次の窓口へ▶ゆうちょ銀行・各金融機関・各支所・納税課(市役所本館2階)・道後温泉事務所(道後温泉本館内)・市東京事務所(東京都千代田区) ※詳細は上記ホームページを確認



www.furusato-tax.jp/gcf/229または次の窓口へ▶ゆうちょ銀行・各金融機関・各支所・納税課(市役所本館2階)・道後温泉事務所(道後温泉本館内)・市東京事務所(東京都千代田区) ※詳細は上記ホームページを確認
☎道後温泉事務所 ☎921-5141・FAX934-3415

子規・漱石・極堂生誕150年記念

桂 文枝独演会

今年の「まつやま子規亭」は子規・漱石・極堂生誕150年記念として、落語家の桂文枝さんを招き、独演会を開催します。

【日時】 12月17日(日)。14時開場、14時30分開演

【会場】 子規記念博物館(道後公園) 4階講堂

【料金】 4,500円(税込み)

※「まつやま子規亭」の通し券を持っている人も、別途チケットが必要

【販売方法】 11月19日(日)9時30分から当日まで(売り切れ次第終了)。直接、子規記念博物館へ(1人2枚まで)

※託児あり。利用希望者は、12月3日(日)までに電話で子規記念博物館へ



桂 文枝さん

☎子規記念博物館友の会 ☎931-5566・FAX934-3416



四国電力(株)の皆さん(上段)、野志市長、柚木さん(下段右)

この日は、愛媛県出身で同社のCMに出演している女優でモデルの柚木美音さんが一日支店長として来庁。柚木さんは「中高生の帰りが部活動などで遅くなったとき通りが明るいと安心」と語っていました。酒井松山支店長は「若者から高齢者まで住み続けたいまちの一助になれば」と話しました。

☎市民参画まちづくり課 ☎948 6736・FAX934 3157

安全・安心なまちづくりに役立てるため、10月25日に四国電力(株)松山支店から防犯灯13灯が寄贈されました。野志市長は「防犯灯は犯罪や事故を未然に防ぐ大切なもの。頂いた13灯は有効に活用したい」と感謝を述べました。

四国電力から防犯灯13灯が寄贈されました



味生分団消防ポンプ蔵置所

大規模災害に備え、消防ポンプ蔵置所の耐震化や機能強化のため、移転・建て替えを進めていた味生分団消防ポンプ蔵置所(北斎院町)が完成しました。

10月15日に行われた落成式では、蔵置所シャッターのイラストをデザインした津田中学校2年生の若林花さんに感謝状が贈呈されました。

消防団の活動拠点 味生分団消防ポンプ蔵置所が完成

野志市長は「災害時に地域の消防団員の皆さんの存在が必要。この蔵置所を地域の防災の拠点として、地域の皆さんの安全・安心のため活動してほしい」と述べました。

☎地域防災課 ☎926 9229・FAX926 9189

台湾・台北市と友好交流協定再調印

観光などの分野で継続的な交流を

本市と台湾・台北市は、平成26年10月13日に両市長が友好交流協定に調印し、これまで、観光、文化・スポーツ、教育、経済分野での交流を進めてきました。今年12月末で協定期間が満了するため、10月20日に台北市で再調印式が行われました。



調印後の柯市長(右)と野志市長

野志市長は「この友好交流協定を基に、台北市との友好の絆をさらに強固にし、両市の発展につなげていきたい」と話しました。合わせて、台北市庁舎1階ロビーに、道後温泉の模型が1年間展示されることになりました。柯台北市長は「道後温泉の模型を観て、多くの台北市民に松山市のことを知ってもらえれば」と期待を寄せました。また台北温泉まつりの開幕式やパレードにも参加し、松山市や道後温泉をP

Rしました。
☎観光・国際交流課 ☎948 887・FAX943 9001



台北市庁舎に展示される道後温泉の模型の除幕

第3回瀬戸内4県都市長会議が高松市で開催

瀬戸内の共通課題に取り組むために



(左から)大西高松市長、松井広島市長、野志市長、大森岡山市長

瀬戸内の中心都市である岡山市・広島市・高松市・松山市の4市で第3回瀬戸内4県都市長会議が10月17日、高松市栗林公園商工奨励館で開催されました。この会議は4市が連携して、観光振興や販路拡大など共通課題に取り組む、互いの長所を生かして相乗効果を発揮することを目指し、平成27年度に第1回を松山市の道後温泉本館で開催しました。今年度のタイのブローカーや旅行社を招請したFAMツアーについて野志市長は「瀬戸内4県都が連携したから実施できた事業。増加する外国人観光客の『誘客』と『受け入れ態勢の強化』の両輪にさらに力を入れていきたい」と今後の連携に期待を込めました。また来年度は香港へのプロモーションとして、旅行専門誌の記者を招請するツアーや各市の魅力を伝える動画作成を進めます。

☎企画戦略課 ☎948 6213・FAX934 1804